



~建築は、建てることより育てること~

MIZUNO "旬感"だより

vol.178

令和3年12月号

セイ・ひじり

聖

けがれない・清らか

〈旬のレシピ〉鱈(たら)の柚子オイル焼き。アルミホイルを広げ、薄くバターを塗り、軽く塩こしょうをふった鱈、きのこ、ねぎ、スライスした柚子を乗せ、バター・醤油・酒少々をふり、アルミホイルを閉じます。フライパンに並べ、弱火で10~15分程かけて中まで火を通して下さい。



『今年一年を振り返って』



翔

—今年の文字—

今年は昨年に引き続き感染症対策で始まり終わった一年でした。

年始にかかげた「翔」(空高く飛ぶ)。

思いがけない所で「翔」が目立っていました(笑)。

エンゼルス 大谷翔平選手は二刀流の大活躍でアメリカの地を空高く飛びましたね。日本人初のホームラン王にはなれなかったですが、驚異的な活躍でした。

「翔」の文字にあやかり、弊社は高くはないですが安定した飛びでした。今後も「翔」をいつも意識しつつ、夢を高く持ち、一日一歩着実に高見を目指し飛び続けていきたいと思っています。

年の瀬は来たる年にワクワクしながら、家族で家飲み忘年会です。今年一年、ありがとうございました。

【冬期休暇のお知らせ】

12月29日(水)~1月5日(水)
冬期休暇
1月6日(木)
熱田神宮垣内参拝のため
午後から通常営業です。

皆さま、良いお年をお迎えください。



水野博旨

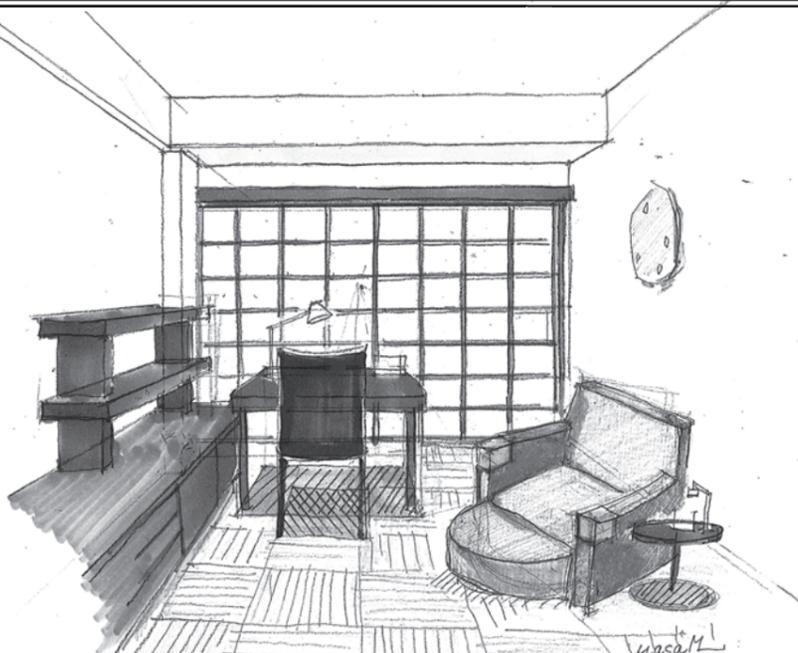
不動産もミズノへ!

創業1950年の信用と実績を礎に、不動産業にも力を入れてまいります。どうぞお声掛けの程、よろしく申し上げます。

土地

建て物

空間設計 ミズノ のデザイン記録 vol.58



今回は東京都の麻布にある国際文化会館を紹介します。1955年に完成した本館は有名な建築家である前川国男、坂倉準三、吉村順三による共同設計。20年後に増築した新館と本館の改修は前川氏によって手掛けられました。登録有形文化財にも登録されており、日本建築学会賞も受賞しています。スケッチは一人用の客室。こちらにも障子や家具にも和の要素が盛り込まれています。落ち着いた設え、こんな書斎がほしいものです。文・写真:水野真宏



伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

年越しの準備はすすんでいますか? 障子を貼り替え、ピンと張った真っ白な障子は清々しい気持ちにさせてくれますね!



障子が醸し出す雰囲気は、日本人にとってホッとさせられるものですね。平安時代末期に誕生したといわれる障子。初めは“明かり障子”といわれ、光を取り入れ室内を明るくして、外の雰囲気も感じ取る目的で誕生しました。襖の誕生から100年も後のことでしたが、襖より簡素な造りで、且つ採光性を保ち、部屋も仕切ることのできる建具の誕生は当時画期的なものだったようです。

この後、鎌倉時代には細い組子骨を用いるようになり、季節や用途に合わせて腰高障子、雪見障子などが生まれました。障子に使われる和紙は薄く柔らかい紙がよいのですが、破れにくく安価であることも必須です。この条件にピッタリだったのが、日本三大和紙の一つでもある“美濃和紙”の美濃雑紙(みのおぞうし:文書草案用や包み紙などの雑用の紙)。“障子紙=美濃雑紙”と言われるほど、障子紙の代表として評価されるようになりました。

障子は和風のイメージが強いかもしれませんが、現代の洋風の空間にも多く取り入れられています。

ポスティングや発送準備作業の際は、手の消毒や手袋着用など、できる限りのコロナ感染防止対策をしています。このお便りが皆さんのお役に立てれば嬉しいです。

株式会社 ミズノ 只今、メンテナンス中です
ホームページ → (2022年4月1日リニューアルオープン予定)

空間設計 ミズノ ホームページ → www.mizuno-architects.com



—建築は、建てることより育てること—

株式会社 ミズノ

お問い合わせは →

☎ 0120-387-312

さわやかなすまいに

一級建築士事務所

空間設計 ミズノ

作品事例はこちらから →



旬のはなし

来年 2022 年は寅年、
『壬寅(みずのえとら)』です。
どんな年になるでしょうね？



- 十干**
- 甲(きのえ)
 - 乙(きのと)
 - 丙(ひのえ)
 - 丁(ひのと)
 - 戊(つちのえ)
 - 己(つちのと)
 - 庚(かのえ)
 - 辛(かのと)
 - 壬(みずのえ)
 - 癸(みずのと)

- 十二支**
- 子(ね)
 - 丑(うし)
 - 寅(とら)
 - 卯(う)
 - 辰(たつ)
 - 巳(み)
 - 午(うま)
 - 未(ひつじ)
 - 申(さる)
 - 酉(とり)
 - 戌(いぬ)
 - 亥(い)



干支は“十干(じっかん)”と“十二支(じゅうにし)”を組み合わせたものです。つまり十干の“干”と十二支の“支”で“干支”となります。十干は元々、日を10日ごとのまとまりで数えるための呼び名でした。10日ごとに、“一旬(いちじゅん)”と呼び、3つの旬(上旬、中旬、下旬)で1ヶ月になります。干支は十干と十二支が組み合わさり60通りあります。つまり60年で一巡するので、60歳で“還暦”のお祝いをするのです。

来る年 2022 年の干支『壬寅(みずのえとら)』はどんな意味が込められているのでしょうか。
“壬”は“妊に通じ、陽気を孕(はら)み、春の胎動を助く”、“寅は蟻(ミミズ)に通じ、春の草木が生ずる”という意味があります。そのため、『壬寅』は厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎となる年のようです。近年は厳しい冬のような時世でしたので、春の芽吹きが一段と強く華々しくなることを切に願います。



又、2022 年は 36 年に 1 度巡ってくる「五黄の寅」の年。「五黄の寅」生まれは最強の強運だそうです。

日めくりカレンダー、プレゼントします！

【先着 20 名様】
弊社でも愛用している日めくりカレンダー。新しい年は一日一言を目にして、一日を始めませんか？

電話・FAX・メールにてご連絡下さい。



水引き作家 伊左治やす江さんの作品

水引き作家 伊左治やす江様の干支の置き物とお年玉袋です。とても有名な伊左次様のことですから、この時期は特に多忙極まりないと思います。旬感だよりが取り持つ縁で送ってくださいます。旬感だよりが取り持つ縁で送ってくださいます。旬感だよりが取り持つ縁で送ってくださいます。旬感だよりが取り持つ縁で送ってくださいます。



暮らしのヒント

愛知県は焼き物の産地！
改めて知る 愛知県の **焼き物** のこと

※六古窯→日本古来の陶磁器窯のうち、平安末期～安土桃山時代から現在も生産が続く6つの窯の総称。

家での食事をより楽しむために、今、再び器(うつわ)が注目されています。六古窯(信楽、備前、丹波、越前、瀬戸、常滑)は有名で2つが愛知県にあります。県内には他にも窯があったんです！

こちらは、皆さんよくご存じですね。

- 瀬戸焼・赤津焼**
良質な陶土に恵まれ、1000年以上の歴史を持ちます。六古窯の中で唯一、器の強度を高めるために“釉薬”を用いた技法をとっています。鎌倉時代には日本最大の焼き物の産地となり、日本の焼き物全般が“せともの”と呼ばれるようになりました。赤津焼は緑色の織部釉が特徴です。
- 常滑焼**
あの赤茶色の急須をご愛用の方も多いでしょう。知多半島で採れる鉄分を多く含んだ陶土の性質を活かした逸品です。鉄分がお茶の苦みや渋みをまろやかにしてくれるので、お茶が美味しくいただけるのです。常滑焼はタイルなど建材にも使われています。

他、現在も残っているのは犬山焼のみですが、こうしてみると江戸時代は、焼き物が盛んだったのですね。それぞれ個性があって、とても興味深いです。

犬山焼
【犬山市】
江戸中期に犬山藩の御庭焼として発展し現在に至ります。赤い紅葉柄が特徴で、華やかな印象です。

川名焼
【名古屋市昭和区川名】
江戸末期～明治にかけて作られました。当時、最新の技法であった銅版転写技法により伝統的な文様や洋風の文様が特徴的です。

豊楽焼
【名古屋市中区大須】
江戸後期～大正にかけて、現在の大須にあった“大池”という溜池の畔に築かれました。草花の絵に織部の緑釉を一部に流し掛けたデザインが多いようです。

御深井焼
【名古屋市中区(名古屋城)】
尾張徳川家の御庭焼。江戸初期に城内の御深井丸に窯が築かれました。灰釉系の透明度の高い釉や波型の縁などが特徴的です。

※御庭焼→江戸中期以降、大名などが城内や邸内に窯を築き、陶工を招いて自分の趣向に合わせて焼かせた陶磁器。

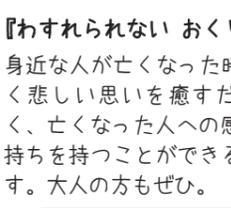
ミズノイチ押し店紹介

本との出会い…豊かな時間 大人も愉しめる
正文館書店 『もう一度読みたい絵本』
～その五～ おすすめの2冊をご紹介します

絵本と触れ合う時間は、人生で3度やってきます。自分が幼い時、親になった時、孫ができた時。それぞれの人生経験によって、同じ絵本でも違った印象を感じるものです。お話に出てくる色や音、においを想像して情景を描き、さらに人生経験をスパイスして何度も楽しめる、特別なジャンルだと思います。目を合わせ、お互いの表情や感情を感じることでできる読み語りの時間は、この上ない尊い時間となることでしょう(当店では“読み・聞かせる”ではなく“読み・語る”を大切に“読み語り”と言っています)。



『わたしのワンピース』
「ミシン カタカタ ミシン カタカタ」うさぎさんがワンピースを作りました。それを着てお花畑を散歩すると、ワンピースが花模様になる...



『わすれられない おくりもの』
身近な人が亡くなった時、つらく悲しい思いを癒すだけでなく、亡くなった人への感謝の気持ちを持つことができる絵本です。大人の方もぜひ。

今まさに、人生で3度目の絵本と触れ合う時間が休日の楽しみの一つです。会う度に孫の成長を感じられるひとは、本当にこの上ない尊い時間ですね。



正文館書店本店
名古屋市東区東片端町49番地
TEL052-931-9321
営業時間10:00～21:00
年中無休(元日を除く)
<http://www.shobunkanshoten.co.jp/>

知立八ツ田店
長久手フレンドタウン店
緑区グリーンプラザ店
各店舗情報はこちらからご覧になれます。→



住宅・店舗の設計・施工・監理
株式会社 ミズノ
〒455-0001
名古屋市港区七番町5丁目3番地
TEL: 052-652-6886
FAX: 052-661-0653
Web: www.mizuno1950.co.jp
Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp

Since 1950

☎ 0120-387-312

一級建築士事務所
空間設計 ミズノ
〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10-3
名古屋陶磁器会館2階204号室
TEL: 052-982-8316
FAX: 052-982-8357
Web: www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計
コンバージョン(用途変更)・など

・駐車場は社屋南側と郵便局側にございます。
・市営地下鉄「東海通駅」下車、一番出口より徒歩3分

一級建築士事務所
空間設計 ミズノ
〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10-3
名古屋陶磁器会館2階204号室
TEL: 052-982-8316
FAX: 052-982-8357
Web: www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計
コンバージョン(用途変更)・など

・最寄りの駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)
・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停